

6月定例会

- 令和5年6月定例会……………2
- 8月臨時会・議会人事……………4
- 議会基本条例……………6
- 一般質問……………7
- 会派の紹介……………12

# 市民のために



## 会派と議員を紹介します



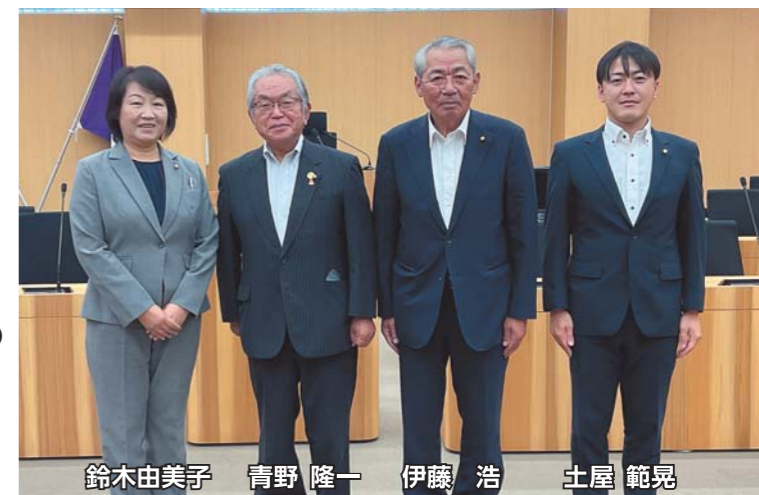
### 令和・公明クラブ

会派名を令和クラブから令和・公明クラブに改め、9人の大所帯となり、新人議員の皆さんも加わり明るく元気な会派です。今尾花沢市では、たくさんの課題があります。特に人口減少や雪の問題は喫緊の課題です。諸課題に取り組み、市民の皆様の声を議会に届け、より良い尾花沢市になるよう精進してまいります。

### 市政研究会

市役所は、市長や議員のものではなく、市民一人一人のものであることを基本理念とする議員が集まりました。

私たちは、①市長と緊張関係を保ち、監視と評価を行います。②調査研究を重ね、一般質問や政策提言を行います。③『市民ミーティング』を開催します。④会報を発行します。



### 会派に属さない議員

市民の声をまっすぐ市政に届け、議会基本条例を活かし、住民自治を前に進めます。



尾花沢市議会基本条例において、議員は議会活動を行うため、会派を結成することができます。また、会派は政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、積極的に政策に関する立案や提言を行います。

### あとがき

118号は、議場での全議員の写真が表紙を飾る議会特集号になっています。キャプションは、市民のためにです。12年間議論して作り上げた議会基本条例も可決し、「市民に開かれた議会」一歩かきやすく読みたくなる議会だより」をめざして、編集委員会一同、今後とも努めてまいります。私は4年間編集委員長をさせていただき大変お世話になりました。次号より新体制にバトンタッチです。次号も乞う御期待下さい。(鈴木清)

### 発行責任者

- 議長 青野 隆一
- 市議会だより編集委員
- 委員長 鈴木 清
- 副委員長 和田 哲
- 委員 星川 薫
- 委員 菅野 喜昭
- 委員 安井 一義
- 委員 鈴木由美子

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

# 物価高騰に家計応援！

令和5年度

一般  
会計

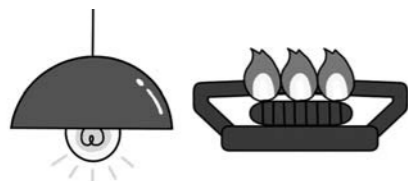
## 2億8,296万円を追加補正

そのうちコロナ対策地方創生臨時交付金1億140万円を活用した4事業は下記の通りです。

1

### 電力・ガス・食料品等 価格高騰交付金事業

低所得世帯(住民税非課税世帯)の経済的負担軽減を図るため、1世帯あたり3万円を支給するもの。



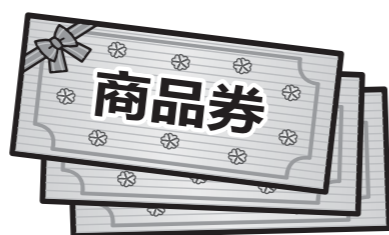
低所得世帯支援分  
(3万円×1,500世帯)

4,761万円

2

### プレミアム商品券 発行事業

商店街等の経営を継続して支援するため、プレミアム率30%の第30弾元気おばね商品券を販売するもの。



1,600万円

3

### 学校給食費 食材支援事業

学校給食の原材料費高騰に対して、1食当たり10%(29円)を補助するもの。



294万円

4

### 上水道等 基本料金の免除

市民及び事業者に対して、上水道及び簡易水道の基本料金を6ヶ月間(7月~12月)免除し、負担軽減をはかるもの。



5,682万円

### 雪対策

- ロータリ除雪車(2.2m級) 5,269万円
- ロータリ小型除雪車(1.3m級) 2,651万円

### 農業支援

- 新規就農者育成総合対策事業費補助金 1,580万円
- 元気な地域農業担い手育成支援事業費補助金 596万円
- 畜産所得向上支援事業費補助金 2,849万円

**Q** 水道料金の減免は、施設の維持補修費、人件費、電気料金、薬品代などの費用に充てられるものであり、市民のみならず目に見えて実感できるような見えないのではないかと。市内への経済効果についてどうお考えか。事務処理の煩雑化と、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合の決算に影響しないか。

**A** 市民への恩恵が平等になるように水道料の減免に取り組むことにした。月々の減免分を必要な経費にまわして頂けたらと考える。

質疑 鈴木由美子

上水道等基本料金の免除について

定例会のあらまし

令和5年6月定例会は、5月25日から6月5日まで開催。令和4年度補正予算4件、令和5年度補正予算4件、条例の一部改正4件、議会発議2件を可決。ロータリ除雪車1台・同小型除雪車1台の購入契約締結2議案を原案通り可決。市監査委員1名の選任、農業委員19名の任命に同意し閉会した。

# 新たな議会体制が スタートします!

## 総務文教常任委員会

◎は委員長 ○は副委員長



◎和田 哲 ○安井一義 菅野 修一 青野 隆一 星川 薫 畑中 和恵 土屋 範晃

## 産業厚生常任委員会



◎菅野喜昭 ○菅藤昌己 大類 好彦 伊藤 浩 鈴木 清 鈴木由美子 高橋 隆雄

議会運営委員会	◎星川 薫 ○鈴木由美子 伊藤 浩 和田 哲 菅野 喜昭 畑中 和恵	
尾花沢市 都市計画審議会委員	鈴木 清 和田 哲 安井 一義 菅藤 昌己 高橋 隆雄	
議会だより編集委員会	◎土屋 範晃 ○畑中 和恵 伊藤 浩 鈴木 清 和田 哲 菅藤 昌己 高橋 隆雄	
広報広聴委員会	◎青野 隆一 ○安井 一義 菅野 修一 大類 好彦 星川 薫 菅野 喜昭 鈴木由美子	
広域 組合 議会	尾花沢市大石田町環境 衛生事業組合議会議員	青野 隆一 星川 薫 和田 哲 鈴木由美子 高橋 隆雄
	北村山広域行政事務 組合議会議員	菅野 喜昭 安井 一義 土屋 範晃
	北村山公立病院組合 議会議員	菅野 修一 菅野 喜昭
森林・林業・林産業活性化 推進尾花沢市議会議員連盟 役員会	菅野 修一(会長) 大類 好彦(副会長) 伊藤 浩 鈴木 清 和田 哲 菅藤 昌己 高橋 隆雄 畑中 和恵 土屋 範晃	

一般会計補正予算	
(総務費) クラウド接続サービス切替業務委託料	81万円
(民生費) 生活保護システム改修業務委託料	265万円
(教育費) 地域スポーツクラブ活動体制整備事業	101万円
合計	447万円

**臨時会のあらまし**  
8月7日臨時会を開き、正副議長選挙を行い、議長に菅野修一議員、副議長に大類好彦議員を選出。  
一般会計補正予算447万円を追加し、総額を130億3千293万1千円とした。

## 議会人事決まる

### 副議長



副議長  
大類 好彦

この度、副議長に就任いたしました。議長を補佐し円滑な議会運営に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

この度、市議会議員選挙において、新たに4名の新人議員を迎え、現職で再選された10名と共に尾花沢市議会がスタートしました。

私達は、この条例に基づいて市民の皆様が一層開かれた市議会となるよう研鑽に励みますので何卒よろしくお願い申し上げます。

そして、8月7日の臨時会で市議会全体の構成が確立したところであります。

市議選直前の6月定例会において、尾花沢市議会の歴史に刻まれる条例を制定しました。議会（議員）のバイブルと称される「尾花沢市議会基本条例」です。この条例には、議会（議員）と市長（執行部）や市民との約束ことが明記されています。

尾花沢市議会では、これまでの4年間で、議会改革推進委員会を立ち上げ、基本条例、倫理条例を制定してまいりました。これから、基本条例に基づき議会報告会を進めていきたいと考えています。まだまだ細かい調整が必要ですが、なるべく早く開催して、市民の皆様のご意見を聞く大事な場にしていきたいと思っております。

### 議長



議長  
菅野 修一

この度、市議会議長を再度担うことになりました菅野修一です。その責務の重大さを痛感し、改めて身の引き締まる思いで一杯です。

去る7月9日の市議会議員選挙において、新たに4名の新人議員を迎え、現職で再選された10名と共に尾花沢市議会がスタートしました。

そして、8月7日の臨時会で市議会全体の構成が確立したところであります。

市議選直前の6月定例会において、尾花沢市議会の歴史に刻まれる条例を制定しました。議会（議員）のバイブルと称される「尾花沢市議会基本条例」です。この条例には、議会（議員）と市長（執行部）や市民との約束ことが明記されています。

私達は、この条例に基づいて市民の皆様が一層開かれた市議会となるよう研鑽に励みますので何卒よろしくお願い申し上げます。

制定なる!

# 討議する事12年! 議会基本条例可決

尾花沢市議会基本条例は、全27条から成り、理念を表す「前文」を下記に紹介します。(全文はQRコードでご覧下さい)今後、広報広聴委員会を新たに組織し、市民との意見交換会の場となる公聴会など企画していきます。



尾花沢市議会基本条例

「前文」

二元代表制の一翼を担う議会は、直接選挙によって選ばれた議員による市の最高意思決定機関及び議事機関として、その権限を最大限発揮し、市民福祉の増進と市民の負託に応える責務を担っています。尾花沢市議会は、市長その他の執行機関の事務に対する監視及び評価を行う重要な役割を果たすことから、互いに健全な緊張関係を保ち、自らも政策の立案及び提言を行い、地方自治の本旨の実現に努めます。更に、先人が築いた由緒ある歴史の品格を保持しつつ、厳しくも恵まれた自然風土を愛し、豊かで住みよい文化的な活力のあるまちを目指します。そして、尾花沢らしい闊達で自由な議論を重んじる民主的気風を尊重し、議会の公正性、公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会、また、市民参加を推進する議会にするために、不断の努力を重ねることを決意し、議会の最高規範としてこの条例を制定します。

進め!!  
さらなる議会改革へ

令和5年6月5日、尾花沢市議会基本条例が全議員の総意をもってスタートしました。

思い起こせば苦節12年。議員定数削減から始まり、倫理条例の策定、議会ネット中継からタレット議会へ、時代とともに議会改革を進めてきました。この度の注目すべき点は議会が市政推進の両輪となり、尾花沢市を発展させるための議員研鑽を唱え、全議員総力で臨む広報公聴会の開催です。今後は、更に市民の声を聞き市民に寄り添う議会改革に進化していく事です。新議員14人におおいに期待するところです。

前議会改革推進委員長

塩原未知子

どうする!  
どうなる? 尾花沢

9人の議員は  
こう質<sup>ただ</sup>した

6月定例会 一般質問



和田 哲 議員

わた さとし

Q 安心かつ快適なスクールバスを

A 計画的な更新を目指していく

安心快適なスクールバス

子どもたちが安心かつ快適にスクールバスを利用できるように、車両の計画的な売買契約またはリース契約による取得と処分のサイクルが必要ではないか。

答 令和8年度の統合中学校および令和9年度の統合小学校の開校に合わせ、通学路が大きく変わる。スクールバス運行に必要な台数を積算するとともに、購入やリースを含めた計画的な更新を目指していく。

問 令和9年度までにスクールバス用の車庫を建設して車両を管理し、快適性および作業性の向上を図ってはどうか。

答 バスを大切に保管することで、維持管理費と修繕費の軽減が見込める利点がある。しかし、学校建設に関わる構想と計画

では、車庫建設について計画されていないため、学校敷地内への設置は難しいと思われる。

悠美館のリニューアル

問 悠美館をリニューアルするには、施設2階にある教育委員会の移動を本格的に検討すべきではないか。

答 リニューアルの概念は、悠美館全体のコンセプトを指針にしており、移動の必要性は感じている。

しかし、すぐに移動できる場所がなく、既に市民が利用している施設の状態を調査しながら検討する必要がある。



星川 薫 議員  
ほしかわ かおる

### Q 早期退職者が多いが対策は

#### A 職員同士の連携強化が重要

**問** 消防職員の採用については、現在の消防職員の最年長者が50代半ばであるとのことであり、定年延長65歳までとすると、来年度1名採用すれば、定員51名に達する。この先何年採用を見送ることになるのか。

**答** 今後約10年間は採用が無く、職員構成に偏りが生じるため、消防力が低下することの無いよう定数見直しも含めて、総務課と協議する。

### 尾花沢市環境基本計画

**問** 河川の水質向上のため有機性汚濁の代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）を減らすために下水道や農業集落排水への接続、単独浄化槽は合併浄化槽に比べBODの排出量



が8倍になるため合併浄化槽への転換が必要であることを市民の皆様よりご理解をいただくことが重要であると考える。パンフレットなど作成する予定はあるのか。

**答** これまでは、合併浄化槽の補助金制度や維持管理についての周知が主であったが、今後は、パンフレットを作成し、ご理解いただけるよう周知する。

**問** 水力発電においては今後期待できるのではないかと考えている。村山北部発電所、中沢川水力発電所、鶴子発電所の各水力発電所の売電収入を調べていただいたのも、そこにヒントがあるような気がする。

**答** 市内のエネルギーについて、豊富な水資源を活用した水力発電は、実績からも本市の気候条件に合った有効な再生可能エネルギーと捉えている。



菅野 喜昭 議員  
すがの よしあき

### Q 小学校入学時のランドセルの支給

#### A 財政事情から検討予定なし

**問** 近隣自治体(村山市)では、卒園小学校入学時にランドセルを支給しているが、保護者の負担軽減も踏まえ、小学校入学園児に対してランドセルを支給してはどうか。

**答** 小学校建設を含む教育環境整備にかかる財政事情に鑑み、現時点では支給について検討の予定はない。  
経済的負担のある家庭については、これまで同様、就学援助費等(要保護及び準要保護生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費等)で対応していく。

教育委員会としては、学校における尾花沢の未来をひらく人間を育成する教育活動を支えることこそ『子育て支援』『少子化対策』につながるものと捉えている。



### 指定管理者の企業努力

**問** (株)ふるさと振興公社の令和3年度の経営状況は。

**答** 公社全体での経常利益は87万5千円のマイナス。花笠の湯では、結果的には50万円のマイナスを計上している。

**問** 黒字になっている徳良湖湖畔のキャンプ場を拡張して、株式会社ふるさと振興公社の収入に寄与(赤字を補填)してはどうか。

**答** 拡張に際しては、徳良湖周辺整備マスタープランに基づき取り組んでいくと認識しており、グランピング施設の整備に合せ検討する必要がある。

現在、利用者からのニーズは、『手軽にキャンプが楽しめる環境の整備』と聞いている。今後は、グランピング施設の整備を優先しながら進めていく考えである。



鈴木 由美子 議員  
すずき ゆみこ

### Q 介護用品券支援事業をさらに使いやすく

#### A 第9期介護保険事業計画で検討していく

**問** 対象となる条件を満たした場合は、在宅のほか入院している方も申請できるが、入院先の病院によって紙おむつの持ち込みが出来るかどうかと出来ないところがある。使いやすい事業にするべきではないか。

**答** この事業の廃止・縮小に向けた方策を検討するよう国から求められているが、まずは必要不可欠な事業であるため継続できると考えている。

**問** 現在の支給対象品目は5点しかない。介護する中で必要とされる介護用品が含まれていないので、品目を増やして欲しいと言った意見も多いがどうか。

**答** 市民のニーズにあった介護用品を利用できるように、事業のあり方については計画の策定作業の中で検討していく。



### 地域安全克雪方針策定事業

**問** これは、除排雪に関する死傷事故防止のための方針策定事業であるとお聞きした。屋根の雪下ろしを請け負う事業所も限られ、作業員も減少傾向であり、冬期間の作業は市民誰にでも危険は伴う。根本的に危険を回避する策として、屋根融雪装置や消雪装置の設置を推進させる必要があると考えるが、設置後のランニングコストなど経費負担の問題もある。負担軽減のため、国の支援の必要性を強く訴えるべきではないか。

**答** 本事業は、地域内の協働で安全な作業に取り組みることを目的に実施するものである。試行的な取り組みとして、除雪券交付時に「請負業者一覧」や請負業者には「安全な除排雪作業の手引き」を配布する。



鈴木 裕雅 議員  
すずき ひろまさ

### Q 学校林を活用するべき

#### A 使用可能な学校林を選定していく

**問** 統合小学校建設には優先的に学校林を活用するべきではないか。

**答** 学校林は市内に点在している。活用するには底地と立木の所有者の確定、土地の境界を明確にすること、作業、搬出道の整備が必要。今後、活用可能な学校林を選定していく。

### ふるさと振興公社における経営改善計画

**問** 計画は3月末までに示されるはずだったが、進捗と今後の展望はどうか。

**答** 昨年11月の「ふるさと振興公社に関する勉強会」で年度内に策定する方針が示された。5月まで協議がなされ、5月24日の株主総会において承認された。



**問** 年度末提示方針が変更された時点で説明することが、本来の改善しなければならない体制ではないか。

**答** 示せる時期については今後、も議会と情報を共有したい。

### 農地の団地化に対する進め方

**問** 集約化の集合体が団地化と考える。「人・農地プラン」が「地域計画」に代わったが、プラスした考え方が必要ではないか。

**答** 農地の集約化に努めることが重要。計画的な農地の集約化のために、地域計画の策定及び実行に向け支援する体制・組織を構築していく。

**問** 体制・組織とは何か。

**答** 35あるプランを5つにまとめ、複数プランへの参加による負担を軽減する。



鈴木 清 議員  
すずき きよし



Q 児童を励ます応援歌を作ってはどうか

A 統合準備委員会で校歌も議題としたい

統合小学校の課題は

現在の尾花沢小学校校歌（昭和八年制定）は大変素晴らしい内容であるため残すことも大切である。新生の統合小学校にあたり、新たに児童を励ます応援歌を作ってはどうか。

学校、保護者、地区民からなる統合準備委員会を設置し、新たな校歌も議題の一つとして議論していただく。

生成AIの活用について、規制を求める声があり、文部科学省は年内に指針を出すとしているが、学校での活用についてどう考えるか。

先進七カ国教育相会合において、共同宣言が採択され、議論が開始されている。学校での活用は国からの方針や通知に基づき対応して行きたい。

新型コロナ「五類移行」の教訓と課題は

本市の新型コロナ感染者数、死亡者数、感染者率はどれほどか。これまで県が行ってきた感染者への食糧支援を本市が行う考えはないか。

市内感染者数は1178名、感染者率8.1%、死亡者数は把握していない。感染法上の位置づけが2類相当から5類（季節性インフルエンザと同等の取り扱い）に変更。外出制限がなくなり、食料の調達や外出は可能となるため食糧支援は終了となる。本市の実施は考えていない。



小関 英子 議員  
こせき えいこ



Q 自主防災会の強化推進はいかに

A 自主防災運営マニュアル作成を予定

市民の生命と財産を守るために、尾花沢市地域防災計画が平成14年制定、平成28年改正、令和5年修正された。自主防災組織の課題と今後の取り組みはどうか。

自主防災組織は、昭和59年頃から順次、自主防災会として結成されて地域防災に尽力されている。人口減少で地域自治の衰退、住民間のつながりが希薄している。今後は、自主防災運営マニュアルを作成し組織の役割や活動を明示し、地域防災に個々の立場を明確し組織力の向上を図る。有事の際は、性別に関係なく、個々の能力を発揮し、地域の共助や協働に活かしていく。

子宮頸がんワクチン接種は、現在の健康と未来を守る重要な取り組みである。令和4年度は11.3%に8.5ポイント上昇している。現在、男子へのHPVワクチン接種の促進はしていない。今後の検討課題とする。

受動喫煙防止

受動喫煙防止対策は、マナーではなくルールである。公共施設での対策はどうか。

36公共施設で13施設が敷地内全面禁煙、23施設が施設内全面禁煙になっている。



安井 一義 議員  
やすい かずよし



Q マイナンバーカード登録促進を

A 安心のサポート体制を維持

マイナンバーの登録促進と活用の周知は、高齢者への対策は。

マイナポイント事業を実施した結果は申請率82.7%、交付率78.2%となる。「オンライン市役所サービス」構想や「市民カード化」構想を進めていきます。タフシー券など空き容量に情報を格納しカードをかざすだけで本人確認と利用回数を確認される仕組みを構築。また基本情報を書くことがない「かんたん窓口システム」を導入。

紛失防止の手立ては考えていないのか。

カード入れ等を考えたい。

儲かる農業の政策、対応は

スイカ以外のブランド化は離農される農家の受け手が足りないのでは。新規就農、移住や嫁ターン、孫ターンなどの担い手確保ため農業がしなくなる仕組みが必要ではないか。

ブランド化は現在「尾花沢米」「尾花沢すいか」「尾花沢牛」「尾花沢そば」など高品質化・生産性向上に取り組んできた結果であり、品質の向上・加工・販売支援にさらに強化し維持していく。新たなブランド化は農家や関係団体と意見交換し進めたい。集約化については進んでいない。新たな地域計画を策定し、一筆ごと将来誰が耕作するのかを目標地図に明確に示す。

ふるさと振興公社

花笠高原荘も30周年。建物の老朽化も進んでいるどうするの。

経営改善計画が33回株主総会で承認された。今後議会



塩原 未知子 議員  
しおばら みちこ



Q 尾小廃校後の活用と本町まちづくりは

A 今年度中に研究会を立ち上げ進めたい

尾花沢IC周辺の活用調査結果は将来の尾花沢に大変有効。今後跡地となる尾小（榎町）と尾中（横町）、旧パレットスクエア付近（上町）、本町まちづくりをどう進めていくのか。

廃校後の活用は現在庁舎内関係者で利活用を検討しているが、市長と語る会で市民の声を聞き、具体的には環境に配慮した再生可能エネルギーを活用する暮らしやすい住空間「無雪化ゾーン」の整備など、中心市街地の再開発を検討する研究会を立ち上げ進めていきたい。

DX推進でファン拡大へ

市の公式HPがリニューアルされたが大変使いにくい。観光部門は特に利用者から不満が多く早急に改善が必要だ。また交通情報発信には今後ETC2.0の技術を活用しデジタル化を推進すべきだ。

情報発信はHPやSNS対応も必要。拡大はふるさと交流促進協議会の関係団体と協議し、観光物産協会のHPと連携をはかりながら適切に発信できるようにしていく。ETC2.0は観光と市民への交通情報が図られるよう今後検討したい。